



切手のいらない年賀状運動に1万人が参加しました！



人と人の温かい「つながり」は、私たちが安心して暮らすためには不可欠です。あいさつを交わすだけの関係をもう一步進め、ゆるやかでも、いざというときは頼りになるご近所関係をつくっていきたくは行動を始めました。その最初の種まきとして、「今年のお正月、近隣へ切手のいらない年賀状を届けてみませんか」という運動に全力で取り組みました。

カード付きの冊子を作成し、1万世帯にこの冊子を届けることを目標に、皆さんに働きかけました。お陰様で11月の後半から、私たちの思いが急速に広がり、NHKの全国ニュースで取り上げられたこともあって、奇跡のように1万という目標を達成することができました。

たくさんの方の温かい気持ちの結集です。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

★半年で、北海道、九州、四国と、切手のいらない年賀状運動は全国に広がりました！

研究会の立ち上げが昨年4月。7月の設立記念フォーラムで「今年のお正月、切手のいらない年賀状運動に1万人の参加を旨とします」と発表！でも、どうやって進めるのか、私たち自身まだ分かっていませんでした（笑）とにかく、ツールをつくらうと、「カード de コミュニケーション」の原案を急ぎ作成し、あらゆる機会に熱く語りました。「理窟より、まずは、年賀状を送るという小さなことからでも行動しましょう」と。。

その活動で、多くの方の共感を得て、この運動はきっと広がるという確信が持てました。「みんな同じ思いだったんだ。人とつながるきっかけを待っているんだ。」と勇気をもらいました。

冊子が出来上がったのが10月20日、それから2ヶ月で1万を越える冊子を全国各地でエントリーして下さったマンションに届けました。最後に送ったのは、なんと愛媛県、12月27日のことでした。

★切手のいらない年賀状運動をきっかけに様々な温かいドラマが！

この運動をきっかけに、マンションでは、私たちの想像をはるかに超えた温かいドラマが展開しました。

あるマンションでは、私たちの話を聞くために居住者の集まりを企画し、冊子を若いお母さんたちが子どもと共に、1軒、1軒回って直接手渡してくれました。それをきっかけに、なんと高齢世帯と子育て世代の世代間交流の第一歩が踏み出せたといいます。

また、別のマンションでは、女性の理事さんが、自作のカードをケースに入れ掲示板に取り付け、年賀状運動に参加する人が自由にとれるようにしたところ、あっという間にカードはなくなり、うれしい悲鳴！追加、追加で、結局1000枚をつくったとのこと。

「人は、ほんとうはつながりたいと思っているんだ」と改めて知り、コミュニティ活動への自信を深めたようです。

そして、運動を進める側にも様々なドラマが。。最初は、カードなんて・・・といていたマンション管理士さんが、いっしょけんめいセミナーで紹介してくれるように大変身！管理会社も、新築間もないマンションのコミュニティ形成支援で参加してくれました。自治会で、防災に近隣の助け合いは不可欠と、自治会長が防災用品とセットで一軒ずつ配布してくれたマンションもありました。

この運動はマンションに縁のある誰もが関わることのできる運動だと改めて教えられました。

感動！そして・・・



私たちの取り組みは、無縁社会ともいわれる都市に、私たちが安心して住み続けるための「新たなきずな」築いていくチャレンジでもあるんだと感じます。

今年もたくさんの感動に出会えるよう、皆さんと共に「行動」したいと決意を新たにしました。

切手のいらない年賀状運動に参加した方からのメッセージを紹介します！

●40歳代女性より

お顔がわかる10数軒に年賀カードを送りました。すると、翌日には家の郵便受けにほとんどの方からお返事が！どれもこれもうれしくて、思わずもう一度お返事を書きたくなりました。

カードを受けとることが、こんなにうれしいものとは。。。

これに味をしめて、春になったら今度は「桜がきれいですね。」のカードを送りたくなりました。

●50歳代女性より

知人からこの運動を紹介され、左右と上下の方に、個人でチャレンジしました。

子供のいる上階の方には、「お子様の気配がないと、風でも引いたのではと心配になります。」と、足音が聞こえても気にしないことをアピール。

思いもかけず、返信が来たのがうれしかったです。受け取った方も、思いがけずうれしく感じてくれたのかもかもしれないと思いました。相手の方も「切手のいらない年賀状」で返してくれました。

●居住者の皆さんにオリジナルの年賀カードを送られた理事長さんより

7名から返信がありました。その返信内容を2つばかり紹介します。

- ・このカードをいただき、このマンションに永住しようと決意しました
- ・カードをみました。今後は管理組合の集會に積極的に参加させていただきます
発信者として嬉しくなるような返事をいただいています。
こんなに反響があるとは・・・予想外です。。



●60歳代男性より

同じフロアに、闘病中の方がいらっしゃることを知って何かできないかといつも気になっていました。この機会に勇気を出して

「当方、定年退職し家で時間をもてあましております。お近くですからいつでもお声を掛けてください」と年賀カードを送ったところ、相手の方がほんとうに感激されて、菓子折りを持ってたずねてこれました。気に掛けているとさりげなく伝えることが、闘病中の人にこんなに通じるんだと、こちらが感激しました。書いてよかったです。



●50歳代女性より

入居して10年になりますが、はずかしながら真下に住んでいる方がどんな方かはっきりしませんでした。

今回思い切って、郵便受けで名前を調べて年賀状を書きました。返事は来ないだろうと思っていたら、エントランスで御礼の声を掛けられ、あのご夫婦だったのかとわかりました。10年来の懸案事項が片づきホッとすると同時に、マンションに対する愛着が増した気がします。

マンションコミュニティ研究会は、「集って住むってステキ！」が常識になる未来をめぐり、マンションという集住のスタイルが本当に価値あるものになるために活動する研究会です。まずは自らが「行動」が合い言葉です。

勉強会やフォーラムの実施、カード運動のツールの共有、メルマガ発行等で、全国の皆さんとつながっています。

ぜひ、皆さんもマンションコミュニティ研究会に参加し行動しませんか。HPからのお申し込みをお待ちしています。

マンションコミュニティ研究会

e-mail: info@mckhug.com URL: <http://www.mckhug.com>

TEL: 090-7829-7094 FAX: 044-752-8037 (カード運動事務局)